

着々と進む！ 津波防災まちづくり



Fブロック（市営住宅東海団地跡地）に完成した津波避難タワー

津波避難タワー



大江いのち山の完成予想図

いのち山



パワーブレンダー工法による地盤改良工（大江いのち山）

津波避難施設の整備の進捗状況

市では、想定される南海トラフ巨大地震による津波から市民の命を守るために、沿岸部5地区住民の皆さんとともに

に作成した津波防災まちづくり計画に基づいて、平成26年度から津波避難施設の整備を行っています。

現在までに、榛原地域の津波避難タワー4基と相良地域の津波避難ビル1棟が完成しました。

平成28年度には、榛原地域は2基の津波避難タワー（静波キャンピンググラウンド北側、慶住寺南側）、相良地域では、大江いのち山と相良金刀比羅山防災公園、津波避難タワー2基（福岡公民館北側、樋尻川北側）の整備を進めています。

残る榛原地域の避難タワー1基（勝間田川港橋付近）についても、平成29年度中の完成を目指します。

背後に山がある相良地域においては、津波避難地・避難路の整備も進めており、現在までに4カ所（片浜、大江、波津、地頭方）が完成しました。今年度はさらに6カ所（片浜、須々木、落居、地頭方、

遠渡）の避難地・避難路整備を実施し、平成30年度までに全20カ所の整備を目指しています。

市民の皆さんの安全安心のために、さらなる事業推進を図り、着実に津波防災まちづくりを推進していきます。

レベル1津波対策の防潮堤整備に着手

県では、相良海岸（相良片浜海岸・相良須々木海岸・相良新庄海岸）において、平成25年度に公表された県地震・津波対策アクションプログラム2013に基づき、レベル1津波（*）の対策を進めています。

このうち、相良須々木海岸（約4.1キロメートル）では、県内で初めて防潮堤工事を実施するものであり、東沢川北側で、昨年11月から仮締切り工事に着手しました。

今後、一日も早い完成に向け、相良海岸の津波対策施設の整備も推進していきます。

（*）レベル1津波とは、本県がこれまで地震被害想定の対象としてきた東海地震のように、発生頻度が比較的高く（駿河・



5月に完成した地頭方3号津波避難地・避難路（上側）

津波避難地・避難路



5月に完成した地頭方3号津波避難地・避難路（下側）

海岸防潮堤



防潮堤整備イメージ

海岸防潮堤仮締切り工事約100メートルが完成（相良須々木海岸防潮堤・東沢川北側）

問い合わせ 建設課 池田 ☎(53)2628